

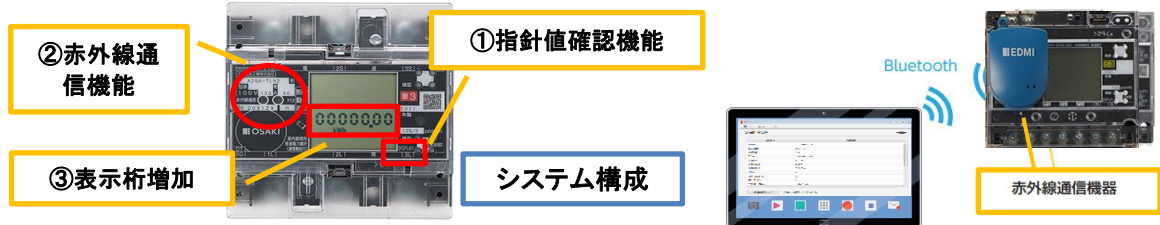
製品名	省施工・省管理化推進コンパクトEM(積算電力量計)	資料番号	67
通称	赤外線通信機能搭載 コンパクトEMシリーズ		

■ 製品概要

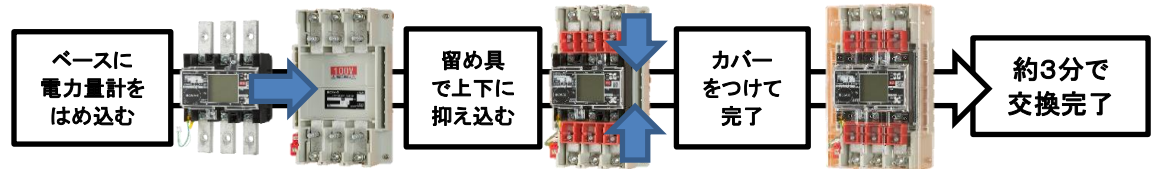
省施工・省管理化推進「コンパクトEM」は、従来課金用途で使われていた電力量計の現場での課題を新機能やオプション機器と組み合わせることによりいかに解決するかを目指し開発した製品です。省施工や省管理をオプション機器や他社システムとの連携により解決へ導きます。

■ 製品の特長（導入効果・メリット）及び構成・仕様

- (1) 新機能 ①指針値確認機能、②赤外線通信機能、③表示桁増加 の搭載
- ①指針値確認機能：従来、電子式電力量計では通電しないと計器の指針値や乗率の確認ができませんでした。本シリーズから右下のDISPLAYボタンを2秒程度押下することにより無通電時でも指針値などの確認ができるようになります。
  - ②赤外線通信機能：オプションの赤外線通信機器（赤外線/Bluetooth変換器）とアプリを組み合わせることで、計器情報（指針値や製造番号など）を一括で計器から取得することができます。取得したデータをアプリにて製造番号毎に帳票化し保存します。これにより現場で書き写したり、撮影した写真を基に手入力していた時間を大幅に削減かつ記入ミスを撲滅します。
  - ③表示桁増加：整数5桁、小数2桁としました。パルス式では配線・接続の確認に指針値が2kWh程度あがるのを待つ必要があり、確認に1台あたり約数十分必要でしたが、電文式の場合は0.01kWhから確認できるよう対応しました。



(2) 電力量計交換時の省施工を目的としたオプション機器「コンパクトベース」  
 電力量計の交換を【簡単・素早く・確実に】を目標に開発した赤外線通信機能搭載コンパクトEMシリーズのオプション機器が「コンパクトベース」です。電力量計は計量法により7年または10年で交換が必要となります。電力量計の交換は営業時間外や年次点検などの短い停電時間内で行われ、1台あたり約15分～20分かかります。短い時間や暗い環境での再配線のリスクや昨今の社会課題である入職者減による人工の確保難を本オプション機器を用いて解決します。



(3) SPIDERPLUSとの連携による施工チェックシート作成の省力化  
 スパイダープラス株式会社が提供する現場DXアプリ「SPIDERPLUS」の電気設備パック「電力量計確認機能」と赤外線通信機器を用いて連携し、現場での検査記録やデータ整理、帳票作成を省力化し業務効率化と社内外のコミュニケーションを円滑にします。この機能を活用することで、担当者個々のスキルや作業品質に依存せず、正確なデータを取得することが可能になり、ヒューマンエラーによる情報の誤りや改ざんの可能性を低くします。



■ 販売額（標準価格）：詳しくは直接問合せ先までご連絡ください

	A2GA-RLS31・A2GA-TLN2r (例：単相3線式)				赤外線通信機器	コンパクトベース		
	30A	120A	250A	/5A		AN-C2020 (30・120A)	AN-C2021 (/5A)	AN-C2022 (250A)
標準価格	45,600	49,800	107,000	50,200	54,000	25,000	22,500	28,000

会社名	大崎電気工業株式会社	URL	<a href="https://www.osaki.co.jp/ja/product/search/category/category01-3/01-3_11.html">https://www.osaki.co.jp/ja/product/search/category/category01-3/01-3_11.html</a>
所在地	東京都品川区東五反田2-10-2	問合せ先	営業開発課 03-3443-7261